

青少年プログラム委員会

青少年プログラム委員会 統轄委員長 高橋 貴子

(行田さくら RC)



2570 地区内の皆様方におかれましては、青少年奉仕につきまして、日頃からクラブ事業にてご健闘のことと存じます。青少年プログラム委員会では 15 歳から 18 歳までを対象とする奉仕といたしましてアクト・ライラ委員会並びに青少年交換委員会という 2 委員会の構成となっております。

アクト・ライラ委員会では地区内の高等学校・学生との連携と支援、スポンサークラブ、他地区との連携、そしてライラデイの実施を行わせていただきます。青少年交換委員会では海外の地区との連携、交換学生の支援、ホストクラブ/スポンサークラブの支援や危機管理等のサポートをさせていただきます。両事業共に単年度の実施ではなく継続的な事業でございます。運営継続と今後の発展の為のサポートが委員会業務の必須項目であると感じております。

「アクト・ライラ委員会について」

ロータリーの奉仕の心を基に構成されるインターアクトクラブは、各クラブの継続的なご支援のもと、社会奉仕や利他に目を向ける青少年の為の育成事業でございます。コロナ禍で活動を控えざる負えない時期がございましたが、奉仕活動への志を持った青少年のモチベーション向上の為にも、スポンサークラブの方々には学校との連携を密にして頂き、各インターアクトクラブが新たな課題に取り組めますよう、どうぞよろしくお願い致します。委員会といたしまして、五十幡年度内に実施される多くの事業にインターアクトクラブの学生を参加させて頂けましたら幸いと感じております。ロータリー活動での経験を通して、学生が成長できる機会の提供が出来る事が望ましいと思います。

「青少年交換委員会について」

皆様方のご理解とご支援の賜物として第 2570 地区の 50 年以上続く青少年交換プログラム事業の継続が成り立っています。異文化を理解し、国境を越えた友情を築く事で世界の平和を少しずつ実現したい、という想いが青少年交換プログラムにはあります。地区内の学生に国際交流への関心を深め、見分を広げて頂きたい。そのための支援をさせていただきます。

パンデミック後の慎重な事業実施を経まして、五十幡年度は 5 名のアウトバウンドを 1 名ずつ 5 か国に派遣する予定です。

「台湾」・「インドネシア」・「チェコ」・「イタリア」・「フランス」

1 年間の留学を終えて帰国した学生たちは別人のようにたくましく、まぶしいほどに

成長します。スポンサークラブか否に関わらず各クラブの会長の皆様方へのお願いといたしまして、是非帰国学生（ローテックス・学友）の卓話の機会を頂戴したくお願い申し上げます。

アウトバウンドの学生は、帰国後の4年間はローテックスとして委員会への協力、後輩の育成に携わることが派遣の条件です。在籍は4年間の任期ですが、「この交換プログラムにより人生が変わった、4年間では感謝しきれない」という学生がローテックス任期終了後「学友」として奉仕活動の継続をしています。地区委員会は「青少年交換学友」「ローテックス」と共に五か国との連携、国内他地区との交流、等の事業を行ってまいります。

インターアクトクラブの学生は自分の為だけの高校生活ではなく「他者の為に何かを！」というしっかりとした考えを持っています。青少年交換プログラムでは月に1度のオリエンテーションを行い、アウトバウンドの為に海外での生活の為に研修やインバウンドの為に体験学習を行います。青少年プログラム委員会といたしまして、地区内の青少年育成はアクト・ライラと青少年交換との共同事業や交流の機会を作り相乗効果を生む事が理想かと存じます。

全ての学生達は会うたびに驚くほど成長していきます。まさに次年度のテーマ、「ロータリーのマジック」そのものです！

青少年プログラムから織りなす「青少年の成長」「リーダーの誕生」「事業を実施するクラブの活性化」等、魅力ある青少年奉仕の数々のマジックをお楽しみいただけますよう、委員会一同努力してまいります。一年間ご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。